



警察職員の本音



警察職員にアンケートを実施した結果です。
ぜひ参考にしてください☆

～警察職員で良かったと思えた瞬間や、印象に残っているエピソード～



【30代・男性】

採用直後で業務が不慣れなときに、上司が担当業務の処理を二の次にして深夜までサポートしてくれたこと！



【30代・男性】

小規模警察署はアットホームな雰囲気、転勤する時の送別会では、その地を離れがたくて涙があふれた。勤務地に恵まれたことに感謝！

【50代・男性】

地下鉄サリン事件の捜査に従事した際、休みも無く忙しかったが、刑事と警備が部門の垣根を越えて一体となって取り組んだことが印象に残っています！

【50代・女性】

絶体絶命のピンチのときに、必ず手を差し伸べてくれる先輩・同僚がいたこと！



【20代・女性】

弱音や愚痴をこぼせる同期や同僚がいることで、色々な壁を乗り越えられたと思います！



【30代・男性】

【30代・男性】

業務を通じて人から感謝されたとき。また、ボーナスをもらったときは、毎回「良かった」と思います！



【30代・男性】

「犯人を検挙する」という思いがあれば、夜遅くなっても構わないと思えるほど、やりがいがあります！

他府県の人が「北海道は島国のため地元志向が強く、道警には地元志向の優秀な人材が多い。」と話しているのを聞いて、道警に入って良かったと感じました！



【30代・女性】

仕事で関わった医療機関の方から「一緒に働けてよかった。また一緒に仕事がしたい。」と言われたことが励みになっています！

